

スイートコーン

担当者 深海健太郎

試験課題名	品種系統選定試験(直播)
目的	本町に適した多収・高品質の品種を選定する
期待される成果	地域適応品種を比較、高品質で生産性の向上を図る
連携機関	上川農業改良普及センター士別支所 JA北ひびき和寒基幹支所

1 供試品種・資材

品種

※ 恵味 86(清水) グラビス(雪印)
みわくのコーン(サカタ) あまいんです(渡辺農事)
WN-ZM513(渡辺農事) キャンペラ90(タキイ)
シュガーピーク(中原採種場)

※基準品種

2 耕種概要

土 壤 ～ 灰色低地土

前 作 ～ カボチャ

播 種 日 ～ 5月22日 収 穫 日 ～ 8月25日 ※8月21日・強風により倒伏

栽 植 密 度 ～ 畦幅75cm×株間30cm 4,444株/10a当たり ※二条マルチ

3 土壤診断結果と施肥量

(1) 土壤診断結果

(mg/100g)

pH	EC	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	CaO	熱水抽出N
6.19	0.065	33.6	46.7	68.7	497.0	5.8

(2) 土改資材と堆肥 (kg/10a)

堆 肥 ～ 1,000kg

(3) 施肥内容 (成分量/%)

基 肥 ～ S 0 0 6 (10 - 20 - 6) 5月20日施行

分 肥 ～ NK 2 0 (20 - 0 - 10) 7月17日施行

(4) 肥料の要素量

(kg/10a)

		N	P	K
基 肥	S006 70kg	7.0	14.0	4.2
分 肥	NK20 20kg	4.0	0	2.0
合 計		11.0	14.0	6.2

4 調査項目

生育・収量調査 ～ 播種日・発芽期・収穫日・生育日数・雄穂抽出期
絹糸抽出期・生育調査・有効雌穂・糖度(Brix)

5 生育・収量調査

項目	品種	恵	味	グ ラ ビ ス	みわくのコーン	あまいんです
播 種 日		5月22日				
発 芽 期		5月30日	5月31日	5月30日	5月30日	5月30日
収 穫 日		8月25日	8月25日	8月25日	8月25日	8月25日
生 育 日 数		88日	87日	88日	88日	88日
雄 穂 抽 出 期		7月26日	7月26日	7月24日	7月27日	7月27日
絹 糸 抽 出 期		8月4日	7月31日	8月4日	8月3日	8月3日
生育調査 (収穫日)	草 丈(m)	1.93	2.03	1.91	2.04	2.04
	桿 長(m)	1.60	1.62	1.55	1.69	1.69
	穂 長(m)	0.33	0.38	0.31	0.43	0.43
	葉 数(枚)	9.1	8.6	8.5	8.1	8.1
有効雌穂 (10a当たり)	総穂数(本)	7,554	7,110	6,666	5,777	5,777
	総重量(kg)	2,155	2,133	1,866	1,955	1,955
	調整重(kg)	1,542	1,463	1,246	1,317	1,317
	調整率(%)	71.5	68.5	66.7	67.3	67.3
	有効雌穂長(cm)	19.7	19.5	17.3	21.6	21.6
	一本当り重量(g)	303	327	257	296	296
糖度(Brix)		16.1	16.3	11.8	17.1	17.1

項目	品種	WN-ZM513	シュガーピーク	キャンペラ90
播 種 日		5月22日		
発 芽 期		5月31日	5月31日	5月30日
収 穫 日		8月25日	9月1日	9月1日
生 育 日 数		87日	94日	95日
雄 穂 抽 出 期		7月28日	8月1日	8月1日
絹 糸 抽 出 期		8月3日	8月3日	8月4日
生育調査 (収穫日)	草 丈(m)	2.32	2.57	2.52
	桿 長(m)	2.15	2.09	2.15
	穂 長(m)	0.43	0.48	0.56
	葉 数(枚)	9.2	8.7	9.6
有効雌穂 (10a当たり)	総穂数(本)	7,554	5,777	6,666
	総重量(kg)	1,999	2,533	3,110
	調整重(kg)	1,291	1,822	1,955
	調整率(%)	64.5	71.9	62.8
	有効雌穂長(cm)	22.2	21.3	20.0
	一本当り重量(g)	286	355	330
糖度(Brix)		15.7	18.7	17.3

6 防除歴

殺虫剤	7月24日	モスピラン水和剤	2,000倍
-----	-------	----------	--------

7 試験結果概要

(1) 生育経過

- ① 播種は5月22日に全品種行い、約1週間で発芽期を迎えた。8月25日にシュガーピークとキャンベラ90以外の品種を収穫し、生育日数は88日となった。
雄穂抽出期は7月24日:みわくのコーン、26日:恵味86・グラビス、27日:あまいんです、28日:WN-ZM513、8月1日:キャンベラ・シュガーピークとなった。
絹糸抽出期は、雄穂抽出期から約一週間もすると少しずつ迎え始めた。早いものはシュガーピークで2日しかかからず、遅いものではみわくのコーンの絹糸抽出は11日もかかっていた。

(2) 生育調査

草丈の平均は218cmだが、突出してキャンベラとシュガーピークが250cm以上になった。桿長と葉数は草丈に比例して値が大きくなっていくようだが、穂長は全品種を見てもそれほど大差はないようだ。

(3) 収量調査

- ① 総穂数は恵味84とWN-ZM513が7554本、グラビスが7110本、みわくのコーンとキャンベラが6666本、あまいんですとシュガーピークが5777本となった。1株から2本穫れる品種が少なく、倒伏により養分が2本目に回らなかった影響が考えられる。
- ② 総重量の最高はキャンベラ90の3110kgで、調整重でもキャンベラが一番重い。調整率を見ると、シュガーピークが一番高い割合となった。
- ③ 有効雌穂長は平均が20.7cmの中でWN-ZM513が一番長く22.2cmだが、実の重さ・糖度を考えるとただ長いだけのようになってしまう。総合的に見ると、一番バランスが良いのはシュガーピークである。雌穂長は21.6cmと長さも充分であり、調整重が355gで糖度も18.7%を記録し、外観も甘さもしっかりとした仕上がりで申し分ない。生で食べても青臭さは全くなく、かなり甘い。

(4) 考察

今年は長期にわたる天候不良と8月21日の最大風速8.5mもの突風による株の倒伏により先細りが多く収量が例年より少ない品種が多い。そんな中シュガーピークとキャンベラ90は収量・甘さに恵まれていた。天候不良に強い品種を調べ、来年度強風が吹いたときの対策をしっかりと反省して来年に活かし、先端まで粒の詰まったスイートコーンをたくさん収穫したい。